

## 【ホームページへの掲載用の研究概要】

### 研究課題名 「CIN(Cervical intraepithelial neoplasia)症例の Follow-up に於ける HPV typing の臨床的有用性に関する検討」

本研究は、ちば県民保健予防財団理審査委員会の承認を得て、理事長が許可した研究であり、当財団での子宮がん検診（集団検診）等を受診して要精密検査やその後に経過観察となって、当財団の婦人科外来を 2013 年 4 月から 2019 年 3 月までの期間に受診される方を対象に、検査項目の 1 つである HPV（ヒトパピローマウイルス）型判定検査結果を用いて、Follow-up の期間や治療の決定について検討することを目的とするもので、**研究期間は2021年度末までの予定です。**

産婦人科治療ガイドライン（日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会、2011 年）では原則として組織検査の診断によって、病変が CIN と呼ばれる比較的軽度な病変の場合、それが軽度、中等度、高度のいずれであるかの違いによって Follow-up でよいか、または治療するかを規定しています。しかし、この Follow-up の間隔や、治療を決定する際には、HPV 型判定の結果を加味しているのですが、このガイドラインは欧米での臨床研究から得られたものであって、残念ながら、まだ日本人を対象としたしっかりしたデータがありません。本研究はその対象を日本人とした基本的なデータを得るためのもので、この研究によってえられた結果を、がんへの危険度や年齢等を考慮しながら、Follow-up 期間や治療の決定に利用することによって、CIN 病変をもつ多くの受診者の方々へ対するより決め細やかな臨床的対応ができるものと考えられます。

本研究における個人情報等の扱いは以下のとおりです。

#### 1. 個人情報の保護

あなたの人体試料や情報・データは、分析する前に氏名・住所・生年月日などの個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、財団において厳重に保管します。

#### 2. 研究結果の公表

研究の成果は、あなたの氏名など個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌等で公表します。

本研究にご自身のデータが利用されることについてご同意いただけない場合やお問い合わせ等につきましては、下記までご連絡ください。

#### 研究責任者

検査部 病理・細胞診断科 早田 篤子